

## 平成 15 年度の地産地消の主な取組みについて

## 1 全県的な運動のための普及・啓発

県広報テレビ番組における P R

「地産地消」をテーマとして、県や地域の様々な取組みを紹介し、県民への理解と協力を呼びかけた。

・「ときめきうつくしま」、「こんにちはふくしま」等

地産地消総合学習事業

「地産地消」についての小学生向け小冊子を作成し、学校や家庭における普及・啓発を図った。

・県内全小学 5 年生に 8 月配布。作成部数：25,000 部

## 2 県庁実践プログラム

## (1) 物品調達における県産品利用の推進

地産地消 P R のため、記念品について県産品を利用

## (2) 公共施設等の県産材等利用の推進 (別紙参照)

## (3) 公共事業等における県内企業の受注機会の確保 (別紙参照)

## (4) 県民参加型市場公募債発行

うつくしま県民債の発行

・発行日：平成 15 年 5 月 30 日

・発行額：20 億円

## 3 地域産品利用支援プログラム

## (1) 県産農林水産物の消費拡大

とれたてふくしま地産地消推進事業

県産青果物を常備するインショップの設置 (量販店指定 7 月～2 月)

・平成 15 年度：県内 14 ヶ所

(福島市 3 店舗、伊達町 1 店舗、安達町 2 店舗、  
郡山市 2 店舗、須賀川市 1 店舗、矢吹町 1 店舗、  
会津若松市 3 店舗、いわき市 1 店舗)

木とふれあう学舎づくり推進事業 等

県産間伐材を活用した小・中学校用机イスの導入を促進。

・計 1,084 セット導入

(郡山市 120、表郷村 97、塙町 245、三島町 37、  
伊南村 30、大熊町 229、川内村 326)

## 健全な食生活推進事業

『ふくしまの「食」と「農」を考えるフォーラム』の開催

・開催日時：平成15年10月24日

・開催場所：あいづ総合体育館

・入場者数：約350人

うつくしま農林水産ファンクラブと生産者の交流会等の実施

・会員数：1,343名(16年3月末現在)

農産物直売所台帳とりまとめ

農産物直売所数(毎年5月調査) 197箇所

## (2) 地場産品・地元工業製品等の利用推進

うつくしま地場産品フェアの開催

県内各地の地場産品を一堂に集めた総合的なPRの実施。(地場産品の販路拡大のためのスケールメリットを生かした総合的な展示販売会)

・開催日時：平成15年10月24日～26日

・開催場所：あいづ総合体育館

・入場者数：21,000人

## 4 地域資源活用プログラム

### (1) 県内文化施設や空港等を活用した交流の推進

福島空港の利用促進

各種イベントにおけるPR活動

空港フェスティバル(5/3)、空の日フェスティバル(9/28)

地球市民フェスティバル(3/7)等

ふくしま海洋科学館学習支援事業

夏休み自由研究教室・土曜教室、移動水族館(8月～：猪苗代町)等

福島県文化財センター白河館体験学習事業

実技講座

・縄文土器づくり ・縄文土器の野焼き 等

## 5 地域特性を活かした取組等

各地方振興局管内において、企画調整事業費及び地域づくりサポート事業等を活用した事業を展開した。